



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月30日

上場会社名 トレイダーズホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8704 URL <http://www.tradershd.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 金丸 貴行  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 新妻 正幸 TEL 03-6736-9850  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月16日  
 決算補足説明資料作成の有無：有 2026年4月30日発表  
 決算説明会開催の有無：有 2026年5月8日開催予定（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	13,218	△1.6	13,140	△1.2	6,161	△7.1	6,161	△7.4	4,244	△6.7
2025年3月期	13,429	32.9	13,299	34.2	6,634	50.4	6,650	51.5	4,547	36.4

（注）包括利益 2026年3月期 4,263百万円（△5.9%） 2025年3月期 4,531百万円（34.9%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	159.11	157.18	22.9	4.2	46.6
2025年3月期	164.58	163.01	29.0	5.5	49.4

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	165,756	19,878	11.9	748.11
2025年3月期	125,048	17,415	13.8	634.27

（参考）自己資本 2026年3月期 19,722百万円 2025年3月期 17,289百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△795	△974	△1,968	8,371
2025年3月期	6,473	△607	△2,582	12,090

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	12.00	—	20.00	32.00	874	19.4	5.6
2026年3月期	—	16.00	—	24.00	40.00	1,059	25.1	5.8
2027年3月期（予想）	—	22.00	—	23.00	45.00		25.0	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,700	18.8	7,000	13.6	7,000	13.6	4,800	13.1	179.95

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	29,538,647株	2025年3月期	29,538,647株
2026年3月期	3,175,224株	2025年3月期	2,280,464株
2026年3月期	26,674,894株	2025年3月期	27,627,770株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

- ・ 決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を行うとともに当社ウェブサイトにも掲載いたします。
- ・ 当社は、2026年5月8日に機関投資家及び証券アナリスト向けにライブ配信による決算説明会を開催する予定です。本決算説明会の動画は、開催後速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等の注記) .....	13
(1株当たり情報の注記) .....	15
(重要な後発事象の注記) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループの主力事業であるFX取引事業を中核とする金融商品取引事業は、子会社であるトレーダーズ証券株式会社（以下、「トレーダーズ証券」といいます。）において、『みんなのFX』（FX証拠金取引）、『LIGHT FX』（FX証拠金取引）、『みんなのシストレ』（自動売買ツールを利用したFX証拠金取引）及び『みんなのオプション』（FXオプション取引）、『みんなのコイン』（暗号資産証拠金取引）のサービスを提供し収益確保を図ってまいりました。また、子会社である株式会社FleGrowth（以下、「FleGrowth」といいます。）が営むシステム開発・システムコンサルティング事業につきましては、主にトレーダーズ証券向けにFX取引システムの開発および保守・運用を行っております。

当社グループの主要な事業領域である外国為替市場におきましては、主要通貨ペアの為替変動率（ボラティリティ）や市場流動性の変動、ならびに参加者構成の変化が引き続き大きな影響を及ぼしております。これらの市場環境の下、当社グループでは、次の施策を実行いたしました。

#### 1. スプレッド・スワップポイントの改良

取引コスト競争力の向上を目的として、主要通貨ペアのスプレッドおよびスワップポイントの改良を実施いたしました。特に『LIGHT FX』にて既に業界最高スプレッド・スワップを提供している“LIGHTペア”を4月より『みんなのFX』において導入し、さらに当社史上最高水準となるスワップポイントを提供するスイスフランキャリア取引を9月より新たに導入し、中長期取引を志向する顧客層の取引拡大および預り資産の増加を図りました。

#### 2. 流動性提供能力強化/カバー取引先カウンターパーティの分散

安定した取引執行体制の構築を目的として、国内外の金融機関4社を新たにカバー取引先として追加し、流動性提供能力の強化およびカウンターパーティの分散を進めました。これにより、より良好な取引条件の提供とリスク管理体制の強化を図っております。

#### 3. システム基盤の強化および取引利便性向上

来期以降に本格的な成長フェーズへの移行を見込む『みんなのシストレ』および『みんなのバイナリー』に関するシステム開発を推進いたしました。具体的には、取引安定性の向上に向けた取り組みとして、MT4からMT5へのシステム移行対応を完了し、UI/UXの改善等によるサービス機能の拡充を実施、来期からの本格的な成長に向け順調に進捗しております。加えて、金融業界全体で課題となっている不正取引やなりすましへの対応として、本人確認手続の高度化を目的としたeKYC（電子的本人確認）に関するセキュリティ対策を推進しております。さらにより安全かつ簡単にログインを行うための新機能としてFID02に対応した「パスキー」を3月28日より導入いたしました。

#### 4. 顧客誘引・維持のためのプロモーション・サービス強化

顧客ニーズに対応したマーケティング施策として、当社の強みであるスワップポイントを訴求するキャンペーンを実施し、新規顧客の獲得および既存顧客の取引活性化を図りました。

以上の結果、営業収益合計は、13,218百万円（前年同期比211百万円減、1.6%減）となり、売上原価、金融費用を差し引いた純営業収益合計は、13,140百万円（前年同期比159百万円減、1.2%減）となりました。

一方、販売費及び一般管理費は6,979百万円（前年同期比314百万円増、4.7%増）と前年より増加しました。増加の主な要因は、積極的にWeb広告を行ったことにより取引関係費が2,173百万円（前年同期比114百万円増、5.5%増）を計上したこと及びオフィスを増床したことに伴い不動産関係費が811百万円（前年同期比122百万円増、17.7%増）に増加したこと等によります。

その結果、営業利益は6,161百万円（前年同期比473百万円減、7.1%減）、経常利益は6,161百万円（前年同期比489百万円減、7.4%減）、税金等調整前当期純利益は6,163百万円（前年同期比480百万円減、7.2%減）となりました。

法人税等合計は、税金等調整前当期純利益の減少により法人税、住民税及び事業税が1,866百万円（前年同期比111百万円減、5.6%減）に減少したこと及び法人税等調整額を52百万円（前年同期比66百万円減、55.9%減）計上したことにより1,919百万円（前年同期比177百万円減、8.4%減）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益は4,244百万円（前年同期比303百万円減、6.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりです。

(金融商品取引事業)

トレーダーズ証券が営む当セグメントの営業収益は13,107百万円(前年同期比194百万円減、1.5%減)、セグメント利益は5,974百万円(前年同期比135百万円減、2.2%減)となりました。

なお、FX取引事業・暗号資産証拠金取引事業の当連結会計年度末における顧客口座数、預り資産は以下のとおりとなりました。

顧客口座数	662,459口座(前連結会計年度末比	56,430口座増)
預り資産	133,295百万円(前連結会計年度末比	21,024百万円増)

(システム開発・システムコンサルティング事業)

FleGrowthが営む当セグメントの営業収益は3,182百万円(前年同期比222百万円増、7.5%増)となりました。同収益の内訳は、グループ会社であるトレーダーズ証券に対するFX取引システムの開発・保守運用等の内部売上が3,063百万円(前年同期比230百万円増、8.1%増)、外部顧客に対する売上が119百万円(前年同期比8百万円減、6.3%減)であります。セグメント利益は667百万円(前年同期比82百万円増、14.0%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して40,707百万円増加し、165,756百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3,618百万円減少した一方、顧客分別金信託が38,494百万円、外国為替差入証拠金が5,476百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して38,244百万円増加し、145,877百万円となりました。これは主に、外国為替受入証拠金が38,995百万円増加した一方、未払法人税等が689百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2,463百万円増加し、19,878百万円となりました。これは主に、剰余金の配当971百万円及び自己株式の取得1,098百万円により減少した一方で、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益が4,244百万円及び譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分163百万円等により増加したことにより増します。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、営業活動により795百万円減少、投資活動により974百万円減少、財務活動により1,968百万円減少しました。この結果、資金は、前連結会計年度末と比較して3,719百万円減少し、8,371百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況及び当該増減の要因は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金は、795百万円の支出超過(前年同期は6,473百万円の収入超過)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益6,163百万円により資金が増加した一方、FX取引にかかる短期差入保証金の増加5,433百万円及び法人税等支払額2,418百万円の支出等により資金が減少したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金は、974百万円の支出超過(前年同期は607百万円の支出超過)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出355百万円、長期前払費用の取得による支出219百万円並びに投資有価証券の取得による支出170百万円等により資金が減少したものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金は、1,968百万円の支出超過(前年同期は2,582百万円の支出超過)となりました。これは主に、配当金の支払による971百万円の支出並びに自己株式の取得による1,098百万円の支出等により資金が減少したものです。

(4) 今後の見通し

翌連結会計年度（2027年3月期）の当社グループの見通しは、以下のとおりです。

当社グループは、顧客預り資産の継続的な増加により収益基盤が着実に拡大しており、当該成長トレンドを踏まえた各種施策を推進することで、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。

来期は中期経営計画の最終年度にあたることから、当期末までの顧客預り資産の伸長および現行施策の進捗を踏まえ、当該目標値を従来の1,450億円から1,500億円へ上方修正しております。

トレーダーズ証券が営む主力の金融商品取引事業においては、引き続きLIGHTペアを導入した『みんなのFX』および『LIGHT FX』を中心に、業界最高水準のスワップスプレッドを継続して提示してまいります。また、差別化戦略として取り組んでいるスイスフランを軸とした通貨ペアについては、当該領域に注力している競合企業が限定的であることから、取引ニーズの開拓余地が大きいと認識しております。当社においては、高金利通貨との組み合わせによるスワップ収益の高さを訴求するとともに、スイスフランクロス通貨ペアの拡充を強化していくことで、預り資産の拡大につなげてまいります。

また、『みんなのシストレ』においては、売買シグナルの配信システムをMT4からMT5へ移行が完了したことによりシステム上の懸念点は解消されたことから、今後はシステムトレード系サービスをFX領域の柱の一つに成長させるため、来期からリピート系注文およびフォロートレードのEA搭載を強化し、早期に成長軌道に乗せるための施策を推進してまいります。『みんなのオプション』においては、プライシングの改善により当期に市場シェアが徐々に回復してまいりましたが、さらなる拡大に向け、当期より準備を進めてきたシステムの全面リニューアルが来期に完了しリリースを迎えるため、より競争力の高いバイナリーオプションを投入し、市場シェアの更なる拡大を図ってまいります。併せて、これらのサービス基盤の強化とともに知的財産戦略を推進することで独自性の高いサービスによる付加価値を特許権化し、超過収益力を継続的に維持できるよう保護することで、高収益体質を持続してまいります。

FleGrowthにおいては、グループの主力サービスである『みんなのFX』『みんなのシストレ』『みんなのオプション』をはじめとする各種取引システムの開発・運用を担っており、当社グループのサービス基盤の強化を推進しております。

来期においては、『みんなのオプション』を中心に、システムの全面リニューアルおよびクラウド化を進めるとともに、内部処理の見直しに加え、AI技術の活用による高度化を図ることで、競争力のあるサービス提供に取り組んでまいります。

また、申し込み・口座管理・入出金等を担う中核システムであるAMS（Account Management System）についても、リニューアルおよびクラウド基盤への移行を計画しており、可用性（安定稼働性）・拡張性の向上ならびに保守性の改善を図ることで、安定的なサービス提供と開発効率の向上を目指してまいります。

さらに、AI技術の活用を通じて、業務効率化およびサービス高度化に継続的に取り組んでまいります。

以上を踏まえ、2027年3月期の連結業績見通しを算定した結果、営業収益は157億円、営業利益は70億円、経常利益は70億円、親会社株主に帰属する当期純利益は48億円と増加を見込んでおります。なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,121	8,503
預託金	101,921	140,416
顧客分別金信託	101,904	140,398
その他の預託金	17	18
トレーディング商品	80	184
短期差入保証金	8,484	13,918
外国為替差入証拠金	8,244	13,720
暗号資産差入証拠金	235	197
その他の差入証拠金	5	—
その他	774	843
貸倒引当金	△0	—
流動資産計	123,381	163,865
固定資産		
有形固定資産		
建物	218	260
減価償却累計額	△94	△147
建物（純額）	124	112
工具、器具及び備品	171	205
減価償却累計額	△105	△132
工具、器具及び備品（純額）	66	72
機械装置及び運搬具	—	6
減価償却累計額	—	△0
機械装置及び運搬具（純額）	—	6
有形固定資産合計	190	192
無形固定資産		
ソフトウェア	789	835
その他	35	34
無形固定資産合計	825	870
投資その他の資産		
投資有価証券	316	473
繰延税金資産	156	103
その他	194	264
貸倒引当金	△16	△13
投資その他の資産合計	651	828
固定資産計	1,667	1,890
資産合計	125,048	165,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	998	1,206
預り金	19	21
受入保証金	102,653	141,476
外国為替受入証拠金	102,377	141,372
暗号資産受入証拠金	275	103
短期借入金	971	920
1年内返済予定の長期借入金	88	78
未払法人税等	1,672	983
賞与引当金	288	139
その他	726	685
流動負債計	107,419	145,510
固定負債		
長期借入金	67	201
役員退職慰労引当金	53	76
退職給付に係る負債	86	81
その他	6	6
固定負債計	213	366
負債合計	107,633	145,877
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	1,012	1,089
利益剰余金	16,157	19,430
自己株式	△1,509	△2,445
株主資本合計	17,225	19,638
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	63	84
その他の包括利益累計額合計	63	84
新株予約権	123	151
非支配株主持分	3	4
純資産合計	17,415	19,878
負債・純資産合計	125,048	165,756

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業収益		
受入手数料	74	68
トレーディング損益	13,210	12,975
金融収益	17	54
その他の売上高	127	119
営業収益計	13,429	13,218
金融費用	40	25
売上原価	89	51
純営業収益	13,299	13,140
販売費及び一般管理費		
取引関係費	2,059	2,173
人件費	3,005	2,759
不動産関係費	689	811
事務費	65	86
減価償却費	372	434
租税公課	235	306
その他	237	407
販売費及び一般管理費合計	6,665	6,979
営業利益	6,634	6,161
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	2
助成金収入	5	9
為替差益	13	2
受取補償金	3	—
その他	4	2
営業外収益合計	28	16
営業外費用		
支払利息	9	2
支払手数料	1	1
投資有価証券評価損	—	13
その他	0	0
営業外費用合計	12	17
経常利益	6,650	6,161
特別利益		
賞与引当金戻入額	0	—
新株予約権戻入益	—	2
特別利益計	0	2
特別損失		
減損損失	1	—
訴訟和解金	6	—
特別損失計	7	—
税金等調整前当期純利益	6,643	6,163
法人税、住民税及び事業税	1,977	1,866
法人税等調整額	118	52
法人税等合計	2,096	1,919
当期純利益	4,546	4,243
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する当期純利益	4,547	4,244

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	4,546	4,243
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△14	20
その他の包括利益合計	△14	20
包括利益	4,531	4,263
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,532	4,264
非支配株主に係る包括利益	△0	△0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,564	961	12,386	△921	13,991
当期変動額					
剰余金の配当			△775		△775
親会社株主に帰属する当期純利益			4,547		4,547
自己株式の取得				△703	△703
自己株式の処分		51		114	165
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	51	3,771	△588	3,233
当期末残高	1,564	1,012	16,157	△1,509	17,225

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	78	78	49	0	14,121
当期変動額					
剰余金の配当					△775
親会社株主に帰属する当期純利益					4,547
自己株式の取得					△703
自己株式の処分					165
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14	△14	73	2	60
当期変動額合計	△14	△14	73	2	3,294
当期末残高	63	63	123	3	17,415

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,564	1,012	16,157	△1,509	17,225
当期変動額					
剰余金の配当			△971		△971
親会社株主に帰属する当期純利益			4,244		4,244
自己株式の取得				△1,098	△1,098
自己株式の処分		76		163	239
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	76	3,272	△935	2,413
当期末残高	1,564	1,089	19,430	△2,445	19,638

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	63	63	123	3	17,415
当期変動額					
剰余金の配当					△971
親会社株主に帰属する当期純利益					4,244
自己株式の取得					△1,098
自己株式の処分					239
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	20	20	28	1	49
当期変動額合計	20	20	28	1	2,463
当期末残高	84	84	151	4	19,878

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	6,643	6,163
減価償却費	372	434
株式報酬費用	446	230
投資有価証券評価損益(△は益)	—	13
新株予約権戻入益	—	△2
減損損失	1	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	14	△149
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19	22
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	44	△4
受取利息及び受取配当金	△1	△2
支払利息	9	2
訴訟和解金	6	—
顧客分別金信託の増減額(△は増加)	△2,348	△38,494
トレーディング商品の増減額	1,821	103
短期差入保証金の増減額(△は増加)	△2,513	△5,433
売上債権の増減額(△は増加)	1	—
立替金の増減額(△は増加)	4	—
棚卸資産の増減額(△は増加)	0	—
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△25	80
預り金の増減額(△は減少)	△6	2
受入保証金の増減額(△は減少)	2,539	38,822
未払費用の増減額(△は減少)	95	58
その他の流動負債の増減額(△は減少)	115	△236
その他	9	14
小計	7,224	1,622
利息及び配当金の受取額	1	2
利息の支払額	△9	△2
法人税等の支払額	△736	△2,418
訴訟和解金の支払額	△6	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,473	△795
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11	△85
無形固定資産の取得による支出	△343	△355
投資有価証券の取得による支出	△215	△170
差入保証金の差入による支出	—	△44
差入保証金の回収による収入	9	—
長期前払費用の取得による支出	—	△219
定期預金の払戻による収入	—	7
その他	△45	△107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△607	△974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△156	△51
社債の償還による支出	△600	—
長期借入れによる収入	100	300
長期借入金の返済による支出	△449	△175
配当金の支払額	△775	△971
自己株式の取得による支出	△703	△1,098
非支配株主からの払込みによる収入	2	1
ストックオプションの行使による収入	—	27
その他	0	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,582</b>	<b>△1,968</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	19
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>3,270</b>	<b>△3,719</b>
現金及び現金同等物の期首残高	8,820	12,090
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>12,090</b>	<b>8,371</b>

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、トレーダーズ証券が営む「金融商品取引事業」及びFleGrowthが営む「システム開発・システムコンサルティング事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 3	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	金融商品 取引事業	システム開 発・システム コンサルティ ング事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する営業収益	13,301	127	13,429	—	13,429	—	13,429
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	0	2,833	2,833	—	2,833	△2,833	—
計	13,302	2,960	16,263	—	16,263	△2,833	13,429
セグメント利益又は損失(△)	6,109	585	6,694	△28	6,665	△31	6,634
セグメント資産	121,592	1,665	123,258	317	123,575	1,473	125,048
セグメント負債	107,314	749	108,064	0	108,065	△431	107,633
その他の項目							
減価償却費	79	294	374	—	374	△2	372
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7	347	355	—	355	0	355

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△31百万円にはセグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント資産及びセグメント負債の調整額の主な項目は、セグメント間の資金貸借によるものです。

4. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 3	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	金融商品 取引事業	システム開 発・システム コンサルティング事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する営業収益	13,098	119	13,218	—	13,218	—	13,218
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	8	3,063	3,071	—	3,071	△3,071	—
計	13,107	3,182	16,290	—	16,290	△3,071	13,218
セグメント利益又は損失(△)	5,974	667	6,641	△29	6,612	△450	6,161
セグメント資産	162,436	2,005	164,441	474	164,916	839	165,756
セグメント負債	145,419	765	146,185	0	146,186	△308	145,877
その他の項目							
減価償却費	88	351	440	—	440	△5	434
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	40	376	417	—	417	22	440

- (注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業等を含んでおり  
ます。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△450百万円にはセグメント間取引消去及び各セグメントに配分  
していない全社費用等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費  
であります。
3. セグメント資産及びセグメント負債の調整額の主な項目は、セグメント間の資金貸借によるもので  
す。
4. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	634.27円	748.11円
1株当たり当期純利益	164.58円	159.11円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	163.01円	157.18円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,547	4,244
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	4,547	4,244
普通株式の期中平均株式数(千株)	27,627	26,674
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	266	326
(うち新株予約権(千株))	(266)	(326)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に 含めなかった潜在株式の概要	新株予約権 1種類 (普通株式 90,700株)	新株予約権 1種類 (普通株式 124,700株)

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。